

一般社団法人京都社会福祉士会 2022年度 事業報告

【2022年度 基本方針】

新型コロナウイルスの感染は拡大と縮小を繰り返し、依然として収束に向かう様子はありません。昨年度の段階で生活困窮や孤立等、社会福祉分野に関わる問題が数多く発生していることが指摘されていましたが、コロナ禍が長期化する中で、益々深刻な状況になっていると言えます。

このような状況の中、社会福祉の現場では専門職や関係者等の様々な工夫や努力により、適切なサービス提供、利用者支援、権利擁護活動が行われていますが、未だ、権利侵害や相談援助活動の制限、不当な差別や偏見が見られる等、社会福祉、権利擁護の推進を阻む要素が確認できます。また、コロナ禍を理由に、本来実施すべきことが行われていない、といった事象も見受けられます。生活が困難になり援助を必要とする人が多くいる中、社会福祉士の在り方が問われているように感じています。

さて、2022年度における本会の活動ですが、新型コロナウイルスが引き続き事業等に大きな影響を与えるものと考え、これまでの経験を活かし、十分な感染対策を施しながら、適切に事業等の運営をしていきます。研修、会議等については可能な限り開催します。研修、会議は対面での実施を基本としますが、状況によってはオンラインにする等、柔軟に対応していきます。また、コロナ禍において援助活動を実施している会員への支援、不当な差別や偏見、不十分な支援への対応等、社会福祉士が社会福祉の専門家として適切な活動を行える環境を作っていきます。さらに、専門職団体や関係機関と連携し、社会福祉に関する問題の府民への周知、ソーシャルアクションの実施等で社会福祉施策、地域福祉の充実に寄与していきます。

加えて、公益社団法人日本社会福祉士会や近畿ブロック社会福祉士会と十分な意見交換を行い、社会福祉士や社会福祉士のあり方について検討していきます。

「with コロナ」と言われることが多い中、支援を必要とする人の権利侵害や社会福祉施策の後退が起きないように、また、社会福祉士が専門職としてその力をいかに発揮できるように、当会を運営していきたいと考えています。

《総括》

2022年度は新型コロナウイルスによる行動制限が少しずつ緩和されてきましたが、社会福祉現場においては、引き続き活動を制限されることも多くあり、現場の社会福祉士も大変な苦勞をしました。一方、オンラインを活用したイベントや研修、会議等の開催については、数多く行われるようになり、確実に研鑽の機会が増えました。京都社会福祉士会の活動についても、過去2年間で得たノウハウを生かし、対面形式を基本としつつも柔軟にオンライン形式を活用し、各種会議や研修等を行ってきました。その結果、計画していた研修等については、ほぼ予定通り実施することができました。ただし、コロナ禍においては入会者が増えなかったこともあり、2022年度末の会員数は、前年度比で減少しました。これは会創設後、初めての出来事です。ホームページをリニューアルし、会へのアクセスは以前より容易になったので、会員増に努めていきたいと思えます。

さて、社会全体を見れば、生活困窮、権利侵害、孤立、戦争等の諸問題が解決したわけではなく、「after コロナ」と言われている中、国民一人ひとりの経済的負担が更に増えると予想されており、新たな社会問題が発生する可能性は否定できません。当会としては、社会の動向に注視しつつ、社会福祉を巡る諸問題に速やかに対処し、アクションを起こしていくことができると考えています。

【重点課題】

1. **第2期中長期計画（2019年度から2023年度までの5年間）の検証、見直しと計画実現に向けた検討**
 - ・6月総会で経過状況を報告しているが、検証・見直しが十分に行えてはいない。中長期計画プロジェクトチームも活動できていない。
2. **コロナ禍での会活動の検証と今後の活動方法の検討**
 - ・研修等はガイドラインを作成し、対面を基本としつつ、開催方法については臨機応変に対応した。対面での研修は、感染防止に努めながら、参加者の交流を意識して実施した。オンライン会議、研修等の運用はスムーズに実施できるようになった。
3. **ホームページ、SNSを活用した広報・啓発活動の充実と会員拡大に向けた取り組み**
 - ・年度末にホームページをリニューアルし、運用を始めた。今後、しっかりと情報発信等ができるようにしたい。SNSについては今後の課題である。パンフレットを作成したが、広報に活用できていない。会員数については、会創設以降初めて前年度から減少した。
4. **多領域におけるソーシャルアクションの実施**
 - ・京都精神保健福祉士協会、京都医療ソーシャルワーカー協会と連名で『政府による「反撃能力」保有方針に対する反対声明』を出すとともに、ソーシャルワーカーデー、世界ソーシャルワーカーデーでは、社会福祉分野に留まらないテーマで研修を行った。また、新生活保護裁判の支援団体等とも協働した。
5. **日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会、社会福祉関係団体等との連携強化**
 - ・日本社会福祉士会、近畿ブロック社会福祉士会の各種会議、研修等には必ず参加するようにした。京都府内の成年後見利用推進に係る会議、関係団体の会議等にも可能な限り参加し、連携を図った。
6. **基礎的、実践的な研修の実施による社会福祉士育成への取り組み**
 - ・各種研修を対面、オンライン、e-ラーニングで実施した。認定社会福祉士認証に関わる研修としては、基礎研修の他、成年後見人材育成研修、スクールソーシャルワーカー養成研修、実習指導者講習会、リーガルソーシャルワーク研修を開催した。また、各支部研修、各部署の研修も実施した。
7. **社会福祉士養成カリキュラムの変更を踏まえた社会福祉士養成の取り組み**
 - ・新カリキュラムでの国家試験は2024年度になるため、受験対策講座はこれまで通りの形で実施した。実習指導者講習会については新カリキュラム対応した内容で実施した。
8. **倫理綱領の理解促進と遵守に向けた取り組み**
 - ・日本社会福祉士会主催の講師養成研修に3名が参加し、3月総会時に倫理綱領の研修を開催した。
9. **会運営・財政の検討と安定した会運営の実施**
 - ・各部署の理解を得ながら、予算に基づく事業の運営を心掛けた。事業の収入については、計画通りにはいかなかったものもあったが、全体的な収支は黒字になった。
10. **社会福祉士任用拡大・職域拡大の実現に向けた取り組み**
 - ・京都府を始めとする行政機関等と社会福祉士の活用や待遇改善等について話しをする等、社会福祉士の活躍の場を広げるように努めた。

11. 会員管理、会費管理に向けた体制作り

- ・会員管理、会費管理については、現状では日本社会福祉士会に委託する形が良いと判断した。日本社会福祉士会と連携し、入会、移動、退会者の管理、会費請求等を行った。

<事業>

1. 相談援助事業

(1) 無料相談の実施

- ・イベント会場等での相談会の開催（年3回）

- 成年後見制度無料相談会：毎月第1土曜日（イオンモール高の原）
- 京都府障害者相談センター移動相談会相談員派遣：11/15（綾部市保健福祉センター）※主催：京都障害児者親の会協議会

2. 権利擁護・成年後見事業

(1) 専門職後見人等としての資質の向上

- ・全体会の開催（2月）
- ・全体研修（更新研修）の開催（2月）
- ・運営会議の開催（4回）
- ・アドバイザー会議、コーディネーター会議、ブロック会議、グループ長会議、研修担当者会議、報告書担当者会議、会計担当者会議、ぱあとなあ京都正副部長会議、会長・副会長との意見交換会（随時）
- ・グループ会議の充実（グループ/各月1回）
- ・ブロック研修会の開催（6ブロック 各2回）

- 全体会の開催：ZOOM 会議 2/4
- 全体研修会：2/4 オンデマンド「社会福祉士が精神障害のある方に関わる意義」
- ブロック長会議等：随時開催
- グループ会議の充実：各グループ毎月開催、MLへの議事録配信
- ブロック研修会の開催：
 - ・北部 11/5「死後事務に主眼を置いた事例検討」
 - ・口丹 10/22「確定申告の基礎知識について」 12/11「成年後見制度利用促進と中核機関の役割について」
 - ・中部A 9/25 (web)「本人死亡時の対応の留意点」 3/12 (WEB)「事例について考える ” 虐待事例等”」
 - ・中部B 9/4「任意後見について」 2/19「事例を通して意思決定支援や身上保護について考える」
 - ・中部C 9/11「死後事務に困らないための生前からのかわり 事例編」
3/12「食の視点から後見活動をふりかえる」
 - ・南部 12/11「任意後見について」
- 基金に関するワーキング会議の開催：2回

(2) 権利擁護に関する相談活動の実施

- ・電話等による相談受付（随時）
- ・相談会の開催

- アドバイザーによる相談への対応：随時対応
- イオン高の原での定期的な相談会への協力
- 京都府障害者相談センター移動相談会への協力
- 各種団体の依頼による研修会や相談会への参加、協力

(3) 後見人登録・受任活動

- ・成年後見人登録・受任活動
- ・苦情への速やかな対応
- ・受任バンクに関わる調整会議の開催（年6回）

- コーディネーターによる京都家庭裁判所からの受任依頼への対応と候補者の推薦：105件
- 苦情への対応：随時対応
- 支援型後見監督人の受任
- 市民後見人リレー案件に関する対応

(4) 他団体との連携強化

- ・京都家庭裁判所との連携強化による信頼関係の維持、強化
- ・三士会への参加、他の専門職団体との研究会や意見交換会等への参加による他団体との連携強化、高齢者・障害者ケース研究会（三士会）の参画（年6回）

- 三士会ケース研究会：6/8 12/14 2/8
- 家庭裁判所と三士会のい会議：6/6 6/23
- 京都市成年後見支援センターへの協力（運営委員、専門相談員）：運営委員 通年 専門相談
- 京都市権利擁護部会への協力
- 長岡京市成年後見制度利用促進体制整備に向けた専門相談：6/17 9/16 12/16 3/17
- 長岡京市成年後見協議会に参加：8/3 1/20
- 成年後見利用促進に関する連絡会(ZOOM)：6/23 9/20 12/19 3/16 3/22
- 京都市成年後見制度利用促進協議会：12/2
- 中核機関・三士会と家裁及び三士会と家裁との連絡会(ZOOM)：6/6 9/12 12/12 3/6
- 家事関係機関と家裁との連絡協議会(ZOOM)：1/24
- 北区権利擁護ネットワーク会議(web)
- 右京区権利擁護ネットワーク会議：10/12
- 伏見区本所権利擁護ネットワーク会議：5/17 7/12 9/13 11/8 12/13 3/14
- 西京区権利擁護ネットワーク会議：5/16 8/19 8/8 11/14 2/13
- 京都市成年後見支援センター「成年後見セミナー」講師派遣

(5) 行政機関が実施する成年後見に関する事業への協力

- ・成年後見制度利用促進法の施行に伴う京都府下の市町村事業への支援
- ・京都府下の市町村が実施する市民後見人養成研修並びに市民後見人の後見活動への支援

- 南丹市権利擁護・成年後見センター運営委員会派遣
- 舞鶴市成年後見支援センター運営委員派遣
- 成年後見センター等の設置に関わる会議等への参加
- 京田辺市成年後見ステーション運営委員会に参加：6/29 9/20 12/19
- 京田辺市令4和年度権利擁護啓発事業「知って備える成年後見制度」フェア 相談員派遣：1/12 1/13
- 京田辺市権利擁護センター運営委員会に協力
- 木津川市成年後見制度利用促進に関する勉強会に参加：5/16 6/27
- 木津川市後見支援センター運営委員会に参加：8/9 11/15 2/3
- 精華町権利擁護・成年後見センター運営委員会に参加
- 長岡京市の勉強会に参加
- 長岡京市成年後見制度利用促進体制整備に向けた専門相談：9/16 12/16 3/17
- 長岡京成年後見協議会に参加：6/17 1/20
- 亀岡市中核機関運営会議に参加
- 南丹市中核機関運営会議に参加
- 京丹波町中核機関運営会議に参加
- 福知山市権利擁護ネットワーク会議：6/3 7/13 12/21

- 福知山市成年後見センター専門職定期相談会 相談員派遣
- 伊根町代表者会議に参加
- 和束町成年後見制度利用促進中核機関設置準備会
- 与謝野町中核機関会議に参加
- 京丹後市権利擁護支援体制あり方検討委員会に参加：7/20
- 宮津市成年後見センター委員会に参加：6/13
- 京都府社協法人後見ありかた検討会：11/4 11/26 1/30 3/24
- 京都市障害者自立支援協議会への協力
- 京都市高齢者・障害者権利擁護ネットワーク会議に参加

(6) 成年後見活動への支援

- ・低所得者（生活困窮者）の権利擁護や支援活動（ばあとなあ基金の活用）

- 生活保護世帯や非課税世帯の成年被後見人等の基準を下回る報酬に対するばあとなあ基金を利用した報酬助成
- アドバイザーによる内部相談

(7) 権利擁護・成年後見制度の府民・福祉専門職等への啓発活動

- ・府民、福祉専門職等への権利擁護・成年後見制度の啓蒙活動
- ・研修講師の派遣、講師研修の検討と実施

- 京都市成年後見支援センター研修への講師派遣：6/13
- 京丹後市社協権利擁護支援者養成研修講師派遣

(8) 成年後見人の養成

- ・成年後見人材育成研修（支部委託研修）の開催（全4回）
- ・名簿登録研修の開催（1回）の開催
- ・フォローアップ研修の開催
- ・未成年後見人養成研修への参加

- 成年後見人材育成研修の実施：8/21 9/18 10/16 12/4 申込者31名（修了者28名）
- 名簿登録研修の実施：1/22 申込16名（名簿登録13名）

(9) 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター事業の運営

- ・京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター事業への参画、協力
- ・関係団体等との連携強化

- 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター事業受諾、運営協力
- 電話相談、専門職派遣、事例検討会開催、成年後見制度普及啓発の取組等の実施

(10) 組織管理体制の整備

- ・ばあとなあ京都230人体制に向けた組織のあり方の検討
- ・業務監査委員会の設置と運用
- ・成年後見制度を取り巻く状況の把握
- ・倫理綱領・行動規範の遵守に向けた取り組み
- ・法人後見制度に関する調査・研究
- ・未成年後見に関する検討

- ばあとなあ運営会議の開催：5/28 10/30 12/3 3/4
- ブロック会議を随時開催し、運営の円滑化を図った
- グループ毎にばあとなあ2月定期報告の点検を行った上、ブロック毎に再点検を行い、適切な活動が行われている

るかどうかの点検を実施
○アドバイザー会議：8/19 2/24

3. 広報啓発事業

(1) ホームページの作成とフェイスブック・電子メールによる情報発信

- ・ホームページを活用した積極的な情報発信の実施
- ・フェイスブックの内容充実と電子メールによる情報発信
- ・MLの活用促進

○ホームページ、Facebook、メーリングリスト等を活用した情報発信と研修や活動への参加の呼びかけ
○ホームページのリニューアル

(2) 『京つうしん』の発行

- ・『京つうしん』充実のための検討・実施
- ・担当部署の設置

○京つうしんの発行：7回（5月号、6月号、8月号、10月号、11月号、1月号、3月号）

(3) 地域毎の広報啓発事業の実施

- ・支部独自の情報発信

○南部支部だよりの発行

(4) 府民に向けた取り組み

- ・京都における社会福祉士（会）の活動紹介
- ・府民への社会福祉士（会）の周知
- ・会紹介パンフレットの作成

○ホームページの更新（随時）
○Facebookを使った情報発信

(5) ソーシャルワーカー等での啓発活動

- ・ソーシャルワーカーデー（7月18日海の日）に合わせた取り組み
- ・世界ソーシャルワークデー（3月21日）に合わせた取り組み
- ・関係団体との連携

○ソーシャルワーカーデー：7/16 ウトロ平和祈念館見学・講演
○世界ソーシャルワークデー：3/24 テーマ「ソーシャルワーカーは平和とともに」ZOOM開催
共催：京都精神保健福祉士協会、京都医療ソーシャルワーカー協会

4. 人材開発・研修事業

(1) 生涯研修センターによる生涯研修制度推進

① 京都生涯研修センターの安定した運営

- ・生涯研修センターを中心にした研修実施体制の構築
- ・研修講師養成の取り組み
- ・多様な形態で研修運営が実施できる体制の構築

② 生涯研修制度に対応した基礎研修の実施と準備

- ・基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの開催（6月～2月）

- ・会員交流による基礎研修修了者へのスキルアップの支援
- ・基礎研修修了者へのスーパービジョン、フォローアップ体制の構築

③ 支部研修の実施

- ・北部、中部、南部での研修の実施

④ 共通基盤研修実施の取り組み

- ・年1回開催（近畿ブロック研究研修奈良大会）

⑤ 新たな研修の企画・開催

- ・オンライン研修の検討と実施
- ・e-ラーニング活用の検討
- ・倫理綱領・行動規範に関する勉強会の実施
- ・スキルアップのための研修の開催（3月総会時）
- ・会員の実践発表への支援（6月総会時／随時）
- ・認定社会福祉士制度に関わる研修の検討
- ・非会員や府民が参加できる研修の開催

○基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実施（2022年6月～2023年3月）

コロナ禍により、集合研修は対面とオンラインを状況に応じて選択実施した他、講義部分については、日本社会福祉士のe-ラーニングを活用し実施。

基礎研修Ⅰ：受講決定者52名 修了者42名

基礎研修Ⅱ：受講決定者51名 修了者49名

基礎研修Ⅲ：受講決定者39名 修了者37名

○基礎研修実施に係るe-ラーニング受講についての説明会とZOOM操作練習会の実施。（2回）

○スーパーバイザーによるSVコーディネート

○総会研修 「可能性ノミカタ」（2022年6月総会）

○総会研修 倫理綱領改訂に伴う倫理綱領研修（2023年3月総会）

（2） 高齢者・障害者虐待対応派遣者の養成

- ・京都府障害者・高齢者権利擁護支援センターの専門職派遣に対応できる人材の養成

○京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター専門部会への参加・協力

（3） 委託研修等の実施と講師派遣

- ・委託研修の受託と実施
- ・他団体等への講師派遣
- ・日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会が開催する研修への協力

○講師派遣依頼は担当部署で人選し、派遣

（4） 社会福祉士養成校協会加盟校との連携

- ・継続的な協力関係の構築の検討

○実習連絡会での情報共有、新カリ対応の実習指導者講習会主催に向けての情報共有、養成校教員と実習班メンバーによる講師活動

5. 地域活動支援事業

（1） 近畿ブロック研修・研究大会の開催

- ・近畿ブロック研究・研修奈良大会への協力（2月）

○奈良大会は、奈良県社会福祉士会の企画運営の下、オンラインで開催

(2) 支部活動の充実

- ・各種研修、相談活動の実施
- ・連携強化の取り組み
- ・地域のイベントへの参加

○北部支部

- ・支部アンケートの実施：8月 回答31名
- ・京都府障害者相談支援センター移動相談会（@綾部）に相談員を派遣：11/14
- ・オンライン研修会「本会の研修体系とSVについて」：1/14（ZOOM開催）参加15名

○中部支部

- ・研修会「ソーシャルワークアセスメントの学習と再考、連携について考える」府立洛南病院精神保健福祉相談員に「精神科医療機関におけるソーシャルワークアセスメント実践」としてアルコール性認知症のかたへの支援と多機関連携の事例報告：7/31（ZOOM開催）参加25名
- ・研修会「若年性認知症の方へのソーシャルワークアセスメント」京都府若年性認知症支援コーディネーターから制度の狭間に置かれたクライアントへの支援について実践報告：2/19（ZOOM開催）参加15名

○南部支部

- ・研修会「居住支援－現状と課題そして展望－」：7/9（ZOOM開催）参加47名
- ・研修会「ヤングケアラー 支援の視点と連携にむけて」：12/3（ZOOM開催）参加28名

6. 調査研究事業

(1) 会員が行う研究会等への支援

- ・会員が自主的に行う研究会・勉強会等への支援

○研修補助制度の継続（申請なし）

(2) 生活困窮者支援に関する研究

- ・生活困窮者支援研究会への支援

○未実施

(3) 災害対策・支援に関する検討

- ・災害対策・支援に関する研究会の開催
- ・京都府災害時要配慮者避難支援センター事業への協力
- ・近畿ブロック災害支援ソーシャルワーク研修への協力

○京都府災害派遣福祉チーム（京都DWA T）研修参加

- ・新規メンバー養成「合同養成研修」4名修了、3名メンバー登録

○災害支援活動者養成研修：12/24、25（大阪社会福祉会館）※近畿ブロック社会福祉士会共催

(4) 社会福祉士実習に関する研究会の開催

- ・実習連絡会の開催（2回）

○実習連絡会：7/23（2022）、2/4（2023）（ZOOM開催）

○実習全般に関する相談：随時対応

○近畿ブロック実習班担当会議：6/18、10/29、1/7、3/25

○実習指導者講師研修伝達研修：6/4

(5) SV（スーパービジョン）の実施

- ・スーパーバイザー登録者を中心にしたSV体制の充実（活動状況・意見のとりまとめ）
- ・SVコーディネートの実施

- ・資質の向上を図る（スーパーバイザー登録者の情報共有、相互研鑽）
- ・スーパーバイザー養成研修への参加

○スーパーバイザー登録者数 11 名
○スーパービジョンコーディネーター申込み 10 名 内契約件数 9 件

（6） 新たな研究事業の企画検討

- ・講師名簿の作成

○未実施

7. サービス評価事業

（1） 第三者評価の実施

- ・介護サービス評価の実施（12件）
- ・福祉サービス評価の実施（9件）
- ・社会的養護施設（1件）

○介護サービス：14 件
○福祉サービス：21 件
○社会的養護施設：2 件

※昨年度 9 件緊急事態宣言、まん延防止重点措置の影響により持ち越したが今年度実施した。

（2） 調査員の養成とスキルアップ

- ・研修会の開催（年 1 回）
- ・役員会の開催（月 1 回）
- ・調査員養成（養成研修開催時）

○介護・福祉サービス第三者評価調査者養成研修（主催：京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構）：
修了 4 名

○サービス評価事業部勉強会：11/5 参加 20 名（ZOOM 開催）

（3） 他の評価機関との連携

- ・外部委員会、第三者評価機関ネットワーク会議への参加

○評価機関ネットワーク会議への参画

○滋賀県健康福祉サービス評価調査者養成研修／継続研修への講師派遣

8. 資格取得支援事業

（1） 社会福祉士国家試験対策の実施

① 社会福祉士国家試験受験対策講座の開催

- ・夏期講座（6 月・1 日間／ガイダンスと同時開催）
- ・秋期講座（9～10 月 4 日間）
- ・直前講座（12 月 2 日間）

② 全国統一模擬試験の実施

- ・11 月

③ 大学・他団体との連携

- ・大学との連携受験対策
- ・国家試験対策に関する連携（京都府社会福祉協議会）

④ 国家試験受験対策への取り組みの検討

- ・ 定例会会議（6回）
- ・ 効果的な受験対策の検討
- ・ 近畿ブロック社会福祉士会との連携
- ・ 受験対策講座ガイダンスの開催（6月）
- ・ 広報活動（SNSを活用した資格取得支援事業の広報活動／他の委員会・事業部との人事交流）

⑤ 入会促進

- ・ 国家試験合格者の祝賀会と京都社会福祉士会への入会説明会の開催（3月）

- プレ企画（1日）：6/19（キャンパスプラザ京都） 参加2名
- 秋期講座（3日）：9/24・10/2・10/10（ハートピア京都会議室）
※会場確保が難しく4日から3日開催に変更した。 参加6名
- 直前講座（2日）：12/11・18（ZOOM） 参加5名
- 社会福祉士国家試験全国統一模擬試験 在宅受験：3名
- 京都府社会福祉協議会主催受験対策講座との連携
- 定例会

(2) 介護支援専門員実務研修受講試験受験対策講座の開催（共催）

- ・ 京都府社会福祉協議会と共催（8月～9月）

- 介護支援専門員実務研修受講試験受験対策講座（共催：京都府社会福祉協議会）：7/16、8/20、9/3、24

(3) 介護支援専門員模擬試験の実施

- ・ 年1回（8月 京都市・北部）

- 介護支援専門員実務研修受講試験模擬試験：8/27
 - ① 南部会場（京都福祉サービス協会旧朱雀事務所） 27名
 - ② 北部会場（空心福祉会法人本部） 4名

(4) 実習指導者講習会の開催

- ・ 年2回（6月・12月／90名）
- ・ 近畿ブロック内での実習指導者会議への参加と活動
- ・ 社会福祉士実習にかかる相談対応

- 実習指導者講習会：6月開催 6/4・5 受講35名（同志社大学）
12月開催 12/17・18 受講51名（同志社大学）
- 実習指導者講習会時に入会案内手続きコーナーを設置、必要な方に配布

9. 介護認定審査会委員等支援事業

(1) 介護認定審査会委員研修の実施

- ・ 年1回（12月）

- 「触法高齢者等の実態と支援」～再犯防止対策室の関わり～：12/10（ZOOM開催/オンラインで参加不可な方に限りハートピア京都4階第4会議室） 参加34名（ZOOM参加24名・会場参加10名）

(2) 介護認定審査会委員資質向上への取組

- ・ 相互交流とスキルアップを図るための機会確保
- ・ オンライン会議、研修の為にスキルを高める

○情報交換

- ・アンケート：介護認定審査会の開催状況について
事前資料の読み込みで気を付けている事や工夫
社会福祉士が介護認定審査会で求められている専門性について
- ・介護認定審査会委員研修の振り返りと意見交換会

(3) 介護保険制度に関わる会員の相互交流と制度への提言

- ・委員会の定例開催（4回）
- ・意見交換の場の設置とソーシャルアクション・提言の実施

○介護保険委員会：5/14（ZOOM）、7/9（中止：アンケート実施）、9/10（集合）、1/14（ハイブリット）の4回の開催予定に対して3回実施、内2回は集合で実施した。新型コロナの感染状況の影響を受け7/9は中止としアンケートで意見集約を実施。ZOOMの普及により、オンライン及びハイブリットでの開催が進み、Webの利用が進んだ。

(4) 他団体等との連携

- ・介護保険に関わる他団体、他職種との連携

○地域包括ケア推進機構「認知症総合対策推進プロジェクト」へのオンライン会議参加

10. 子ども家庭福祉支援事業

(1) スクールソーシャルワーカー養成の取り組み

- ・スクールソーシャルワーカー養成講座の開催

○2022年度スクールソーシャルワーカー養成講座（認証研修）：8/11、8/20（ZOOM）、9/4（ハートピア京都）
22名受講（19名修了）

(2) スクールソーシャルワーカー現任者等の交流会の実施

- ・定例会の開催（月1回）
- ・スクールソーシャルワーカー現任者及び目指す会員の研修会の開催
- ・定例会内でのミニ学習会

○毎月第2土曜日の夜に子ども家庭福祉委員会の定例会を開催（10回はオンライン、2回は対面）、その中で、委員会メンバーを話題提供者に年間6回の自主勉強会を開催
○現任京都府まなび・生活アドバイザー（会員限定）の研修会は未実施

(3) 子ども家庭福祉領域に関わる研修会の実施

- ・子ども家庭福祉領域に関する公開研修会の開催

○2022年度子ども家庭福祉公開講座「親子にやさしい社会」にするために～私たちはなにができるか～
「子どもの貧困と生活保護」の講演とパネルディスカッション（共催：立命館大学桜井啓太研究室）：11/11
（立命館大学朱雀キャンパス） 参加50名

(4) 他団体との連携

- ・京都府及び京都市教育委員会との連携
- ・市町村要保護児童対策調整機関専門職研修への協力など、こども家庭福祉領域での京都府・市（福祉部門）との連携
- ・滋賀県社会福祉士会子ども家庭福祉研究会との連携

- 京都府まなび・生活アドバイザーへ身分の会計年度任用職員への変更に伴い、本会の会員推薦制度は廃止されたが、制度内容への提言や養成研修への講師招請など連携に努めた
- 京都府教育委員会との懇談
- 京都府内市町のいじめ防止・再調査等委員会組織への委員等の派遣
- 京都教育大学へのスクールソーシャルワーカーの派遣

11. 「司法と福祉」に関する事業

(1) 司法と福祉に関する研究の促進

- ・委員会の定例開催（年7回 4月、6月、8月、10月、12月、2月、3月）
- ・関係施設見学会の実施（9月）
- ・司法と福祉に関する研修の計画

- 定例会はZOOMを中心に年7回(4月、6月、8月、10月、12月、2月、3月)開催
- 関係施設見学会はコロナ禍で中止

(2) 研修会の開催

- ・リーガルソーシャルワーク研修（2月）
- ・公開研修会の開催（年1回 11月）
- ・司法と福祉に関する勉強会の開催（年1回 5月）

- 公開研修会：9/10（京都テルサ）
- リーガルソーシャルワーク研修：3/4・5（京都J Aビル） 受講 18名 内修了8名
- 司法と福祉に関する勉強会 会員による実践報告(4回)（ZOOM開催）

(3) 関係機関とのネットワーク作り

- ・京都地方検察庁との連携強化
- ・研修会等を通じたネットワークの強化と拡大
- ・司法と福祉分野に関連する情報の積極的な発信
- ・都道府県社会福祉士会との連携

- 検察庁との連携：京都地方検察庁と入口支援の協力連携(年間)
- 京都府犯罪被害者支援センターとの連携：犯罪被害者支援京都フォーラムへの出席(11月)
- 行政機関との連携：少年サポートセンター職員との意見交換(2月)

12. 地域包括ケア・共生社会事業

(1) 地域を基盤に活動する社会福祉士に対する支援・レベル向上

- ・分野横断的な地域共生社会の実現に向けた研修（3回）
- ・意思決定支援に関する研修
定例委員会議（月1回）

- 分野横断的な地域共生社会の実現に向けた研修（全3回）：①9/3（土） ②10/1（土） ③11/5（土）
（①②③ ZOOM開催） 申込者 13名
- 意思決定支援に関する研修の実施：6/9（ZOOM開催） 申込者 26名、受講者 21名
- 定例委員会議（月1回）：4/26、5/24、6/28、7/26、8/25、9/21、10/18、11/22、12/27、1/23、2/28、3/28
- 2022年度地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修（web）の参加：2/19-20 委員より1名
- 2022年度地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修（講師養成研修）（web）の参加：3/12 委員より3名

<運営>

1. 組織拡大と体制整備

(1) 会組織の体制強化

① 中長期計画の推進

- ・中長期計画【2019年度～2023年度】状況の検証と推進への取り組み

○6月総会で前年度までの進捗状況を報告。年度途中の検証は不十分。

② 会組織の検討

- ・会組織に関する検討と必要な規則等の制定と見直し
- ・新型コロナウイルスの感染状況に速やかに対応できる体制づくり

○理事会、運営協議会等で断続的に検討。大きな組織改編はしていない。

③ 収支（及び事業内容）の精査・見直し

- ・法人運営における収入・支出の精査・見直し
- ・ばあとなあ基金

○支出については予算に基づき執行しつつ、コロナ禍等により柔軟に対応するケースも多々あった。収入が増えた事業もあり、大幅な黒字となった。

○ばあとなあ基金は、権利擁護・成年後見事業部と連携をし、実施した。

④ 会員への支援体制の強化

○オンラインアカウント使用を始め、随時対応しているが、定期的に行っているものはない。

(2) 会員数拡大策の実施（目標数1200名）

① 組織率アップを図る

- ・新たなプロジェクトチームの立ち上げにより、会員拡大の具体的な取り組みを実施
- ・組織率アップに向けた関係団体等への働きかけ
- ・会パンフレットの作成・配布

○新たなプロジェクトチームは立ち上げていない。

○会員パンフレットは作成したが、配布等はしていない。

○コロナ禍で十分な活動ができなかった。2023年3月末の段階で会員数は減少した1087名（前年同月比-9名）

○ホームページをリニューアルしたことで、アクセスしやすくなった。

② 入会促進キャンペーンの実施

- ・30歳以下の新入会員の入会金、会費の免除（日本社会福祉士会と連携）
- ・31歳～40歳の新入会員に対するキャッシュバックを実施

○30歳以下の新入会員の入会金、会費の免除（日本社会福祉士会と連携）：4名

○31歳～40歳の新入会員に対するキャッシュバック：13名

(3) 支部活動の強化

- ・支部活動の検討と支援

○支部交付金を活用し、北部、中部、南部が独自で研修を開催した。

(4) 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会との連携

- ・日本社会福祉士会主催の研修、会議等への参加

- ・近畿ブロック社会福祉士会との連携と会議への参加
- ・政治的アプローチ等に関する社会福祉士会、社会福祉士の在り方についての検討

【日本社会福祉士会】

- 第二期成年後見制度利用促進基本計画に係る説明会：5/7（ZOOM）
- 2022年度第1回全国生涯研修委員会会議：5/15（ZOOM）
- 高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会：5/29（ZOOM）
- 2022年度総会：6/18（ZOOM）
- 全国大会東京大会：7/2、3（オンラインと会場開催）
- 都道府県社会福祉士会会長会議：9/3（ZOOM）
- 2022年度新スーパーバイザー養成研修：9/17、18（ZOOM）
- 2022年度第2回全国生涯研修委員会会議：9/24、25（ZOOM）
- 組織委員会：随時（ZOOM）
- 2022年度都道府県ばあとなあ連絡協議会：10/29（ZOOM）
- ばあとなあ活動報告システムに関する説明会：11/14、18、19 同内容（ZOOM）
- 基礎研修講師養成研修：2/11、12（ZOOM）
- 2022年度事務局代表者会議：2/16（ZOOM）
- 生活困窮者支援ソーシャルワーク研修：2/18、19（ZOOM）
- 地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修：2/19、20（ZOOM）
- メンタルヘルスの基礎研修：3/2（ZOOM）
- 地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修（講師養成研修）：3/12（ZOOM）
- 臨時総会：3/18（ZOOM）
- 2022年度スクールソーシャルワーク実践アドバイザー研究交流会：3/19（ZOOM）

【近畿ブロック】

- バリアフリー展ブース出展：6/8～6/10（インテックス大阪）
- 代表者会議：4/17、6/18、8/21、2/16（ZOOM）
- 実習担当者会議：6/18、10/29、1/7、3/25（ZOOM）
- ばあとなあ担当者会議：10/15（ZOOM）
- 研修担当者会議：2/25（ZOOM）
- 事務局会議：3/17（ZOOM）

（５） 他機関・他団体との連携と協力

- ・委員、講師等の派遣
- ・行政機関、関係団体等が主催する研修、会議等への参加

【京都府】

- 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター運営の委託
- 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター運営委員会委員
- 京都地域包括ケア推進機構「認知症総合対策プロジェクト」
- きょうと介護・福祉ジョブネット ワーキング・プロジェクトチーム
 - ・業界育成チーム / ・北部・福祉の学び創造チーム
- 京都福祉人材養成プログラム推進事業「事業推進チーム」
- 京都府北部福祉人材確保・定着戦略会議
- 認知症リンクワーカー検討会検討委員
- 京都府犯罪被害者支援検討委員会委員
- まなび・生活アドバイザー

【京都市】

- 京都市保健福祉局指定管理者選定委員会委員
- 京都市精神医療審査会委員
- 京都市社会福祉審議会社会福祉充実計画審査専門分科会特別委員
- 京都市障害者自立支援協議会「権利擁護部会」委員
- 京都市介護認定審査会委員
- 京都市障害支援区分判定等審査会委員
- 京都市洛西ふれあいの里の民間移管に係る契約候補事業者選定委員会

【京都府社会福祉協議会】

- 京都府社会福祉協議会評議員
- 京都府社会福祉協議会 生活福祉資金運営委員会委員
- 令和3年度福祉職場就職フェア実行委員会委員
- 京都介護・福祉第三者評価等支援機構理事、介護保険事業委員会委員
- 京都府福祉サービス運営適正化委員会委員
- 京都府福祉人材・研修センター運営委員会委員
- 京都府福祉人材・研修センター運営委員会人材センター一部会委員

【京都市社会福祉協議会】

- 京都市社会福祉協議会理事
- 令和4年度京都市高齢者虐待事例研究会委員

【権利擁護・成年後見関係】

- 京都府社会福祉協議会が担う法人後見あり方検討会
- 京都市社会福祉協議会 地域福祉権利擁護事業に係る契約締結審査会委員
- 京都市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業契約締結審査会及び法人後見事業審査会委員
- ／京都市単身高齢者万一あんしんサービス事業契約締結審査会委員
- 京都市成年後見支援センター運営委員
- 令和4年度京都市成年後見支援センター事業（相談員派遣）
- 京丹后市権利擁護支援体制あり方検討委員会委員
- 伊根町福祉保健医療ネットワーク会議権利擁護部会
- 宮津市成年後見制度中核機関設立準備会委員
- 与謝野町権利擁護支援体制検討委員
- 舞鶴市成年後見支援センター運営委員会委員
- 福知山市権利擁護ネットワーク会議委員
- 南丹市権利擁護・成年後見センター運営委員
- 京丹波町成年後見制度中核機関の立ち上げに向けた準備会
- 亀岡市成年後見制度中核機関運営委員会
- 長岡京市成年後見制度利用促進体制整備に向けた合同勉強会、相談会
- 長岡京市成年後見制度利用促進体制整備に係る協議会
- 京田辺市成年後見ステーション運営委員会
- 京田辺市権利擁護地域連携ネットワーク協議会
- 木津川市成年後見センター運営委員会
- 和束町成年後見制度利用促進中核機関設置準備会
- 精華町権利擁護・成年後見センター運営委員会委員

【子ども・家庭・学校関係】

- 舞鶴市いじめから子どもを守る会議
- 福知山市いじめ防止対策推進委員会委員

- 宇治市学校支援チーム委員
- 宇治市子ども・子育て会議委員
- 木津川市いじめ防止等対策委員会
- 木津川市いじめ再調査委員会委員
- 宇治田原町いじめ防止対策推進委員会委員及び宇治田原町教育委員会いじめ調査委員会委員
- 宇治田原町いじめ再調査委員会委員
- 【その他】
- 京都府障害者相談センター運営委員会委員
- 城陽市介護認定審査会委員
- 京都府介護支援専門員会特任理事
- 一般社団法人京都精神保健福祉協会理事
- 京都医健専門学校教育課程編成委員
- 京都府検察庁福祉アドバイザー
- 【講師・相談員派遣】
- 京都市長寿すこやかセンター 令和4年度成年後見セミナー
- 京都市成年後見支援センター 令和4年度京都市市民後見人養成研修講座
- 令和4年度京都介護・福祉サービス評価調査者養成研修
- 滋賀県健康福祉サービス第三者評価調査者養成研修・継続研修
- 認定特定非営利活動法人FaSoLaBo京都食物アレルギー児の保護者向け学校説明会
- 社会福祉法人京都市社会福祉協議会 令和4年度成年後見制度に係る専門職派遣事業（派遣はなかった）
- 社会福祉法人京丹后市社会福祉協議会「権利擁護に関わる支援者養成講座」
- 京田辺市令和4年度権利擁護啓発事業「知って備える成年後見制度」フェア
- 社会福祉法人京都総合福祉協会「計画相談学習交流会」
- 京都障害児者親の会協議会 京都府障害者相談センター移動相談会

2. 会員活動への支援

(1) 会員からの相談・要望への対応

- ① 相談受付体制の確立
- ② 新たな活動に対する支援の検討

○相談等には適宜対応

(2) 社会福祉実践活動への支援

- ・独立型社会福祉士への支援の検討
- ・会への問合せに対応する会員への支援

○独立型社会福祉士への支援は未実施

○問い合わせには適宜対応

(3) 社会福祉士倫理綱領・行動規範の遵守に向けた取り組み

○2022年度倫理綱領・行動規範研修講師養成研修：12/25（ZOOM開催）3名受講 ※日本社会福祉士会主催

○「どうする社会福祉士？ やっぱり大事！倫理綱領」：3/25 2022年度第2回総会時に開催

3. 事務局の充実

(1) 事務局体制の充実

- ① 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会との協力体制と事務分担の確立
- ② 会員・会費管理に向けた体制整備

○事務局職員体制：事務局長1名、事務局次長1名、常勤職員1名、非常勤職員2名（週3日6時間）

（２） 歳出削減

- ① 歳出削減への取り組み
- ② 経費の見直し

○会計担当者、事務局、各部署、税理士と連携した歳出削減への取り組み、経費見直しの実施

2022年度年間会議報告

<総会>

	開催日	会場	主な議案
第1回	6・25	キャンパスプラザ	2021年度事業報告・決算、2022年度特別会計予算
第2回	3・25	京都JAビル	2023年度事業計画、予算

<理事会>

	開催日	会場	主な検討事項
第1回	5・21	こどもみらい館	2021年度事業報告・決算、2022年度特別会計予算 等
第2回	11・19	ハートピア京都	2022年度下半期の活動、2023年度の活動、役員改選 等
第3回	2・18	京都JAビル	2023年度事業計画・予算、第2回総会、役員改選 等

※理事会では毎回、会員の入退会について検討しています。

※選挙管理委員の選出については、文書審議

<運営協議会>

	開催日	会場	主な検討事項
第1回	4・16	ZOOM	2021年度第2回総会、2022年度第1回総会 等
第2回	5・22	こどもみらい館	2021年度事業報告、決算、2022年度特別会計予算 等
第3回	7・16	ハートピア京都	2022年度第1回総会の振り返り、2022年度の活動 等
第4回	9・17	ZOOM	2022年度の活動 30周年記念事業 等
第5回	10・15	ハートピア京都	2022年度、2023年度の活動 30周年記念事業 等
第6回	11・20	ハートピア京都	2023年度の活動、事務委託 等
第7回	12・17	ハートピア京都	2023年度事業計画・予算、役員改選 等
第8回	1・21	ハートピア京都	2023年度事業計画・予算、役員改選、2022年度第2回総会 等
第9回	2・18	京都JAビル	2023年度事業計画・予算、2022年度第2回総会、30周年記念事業 等

※毎回、支部・事業部・委員会報告を行っています。